

9 大雨・洪水・雷から身を守ろう

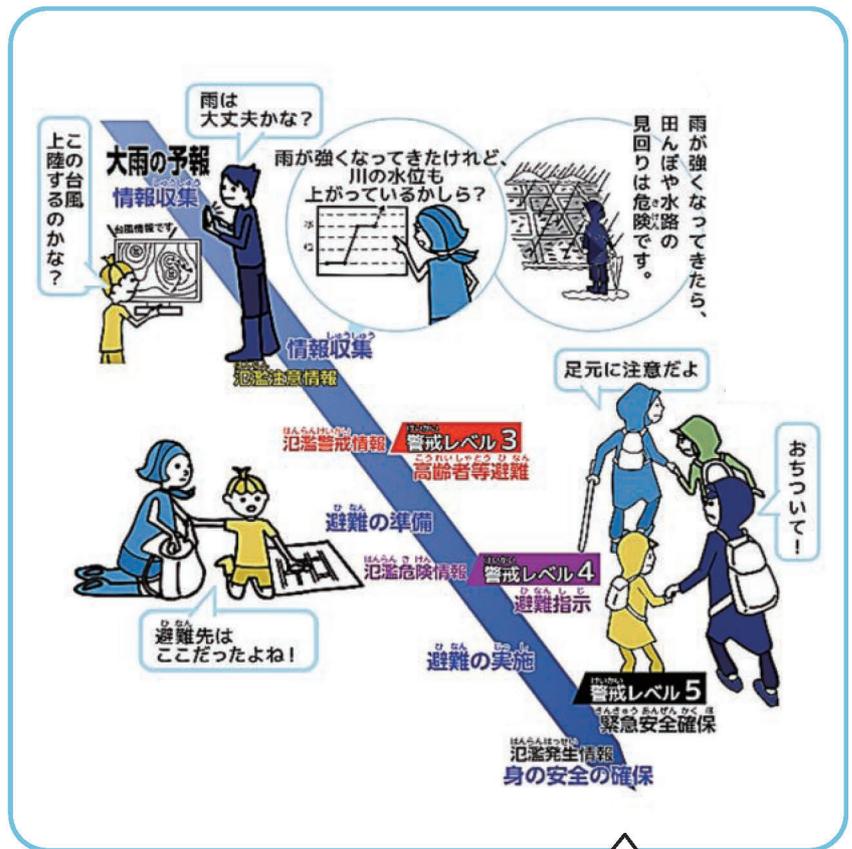
大雨・洪水・雷の危険性について知り、どのように身を守ればよいかを考えよう。

○大雨・洪水による危険

石巻市には北上川など、豊かな恵みをあたえてくれる川がありますが、大雨が降ると増水し、堤防が壊れるなど大きな水害をもたらすことがあります。現在は排水処理場の整備や護岸工事などによって、大きな水害が起こることは少なくなってきています。

日本各地では、毎年のように大雨や長雨による洪水、土砂災害の被害にあっています。また、最近では、次々と発生した雨雲が列をつくり、同じ場所に激しい雨を降らせ続ける「線状降水帯」にも注意が必要です。

大雨が降ることは予測することができるため、早めに避難行動をとることが大切です。台風や大雨などの風水害から身を守るため、自分自身の「防災行動計画（マイ・タイムライン）」を作ることにも有効です。



国土地理院
「重ねるハザード
マップ」

気象庁
「雷活動度
（雷ナウキャスト）」

国土交通省「逃げ
キッド（マイ・タイム
ライン検討ツール）」

○^{かみなり}雷による^{きけん}危険

次のような変化を感じたら、^{せきらんうん}積乱雲（^{にゅうどうくも}入道雲）が近づいてくるし
るしです。間もなく^{はげ}激しい雨と^{かみなり}雷がやってきます。^{たつまき}竜巻が^{おそ}襲って
くるかもしれません。

真っ黒い雲が近づいてきた

^{かみなり}雷の音が聞こえてきた

急につめたい風が吹いてきた

すぐに^{きけん}危険な場所からはなれ、安全な場所にひなんしましょう！

まよっている時間はありません。「自分はだいじょうぶ！」「恥ずかしい！」という気持ちは
すてて、すぐに^{きけん}危険な場所からはなれましょう。お父さんやお母さんにも声をかけて！

激しい雨の中を歩くのは^{きけん}危険。
しばらく雨宿りを！

雷が落ちたり、突風でゴールが吹き飛
ばされたりします。建物の中に入って！

あっという間に水かさが増え、
流れが激しくなります。
川のそばからはなれて！

木に落ちた雷で感電することがあり
ます。木のそばからはなれて！

**しばらくの間、
じょうぶな建物の中で、
身を守りましょう。**

気象庁リーフレット「^{きゅう}急な大雨・^{かみなり}雷・^{たつまき}竜巻から身を守ろう！」より抜粋

○大雨・^{こうずい}洪水・^{どしゃさいがい}土砂災害から身を守るにはどうすればよいか、考えたことを書きま
しょう。
